

広国市民大学 : “いのち”を紡ぐコース

## 第1回

# 家族の介護負担軽減を図るため、また、 相続トラブルを引き起こさないためのポイント

広国市民大学

吉川 眞

## \* 社会福祉の概念の変遷



相互扶助

慈善事業

救貧事業

博愛事業

福祉国家

## \* 申請受給・申請保護の原則について

福祉サービス、社会保障制度は、どれ程に困っていても、当事者やその関係者から担当窓口に直接相談を持ち掛けない限り、問題の解決軽減を図ることが出来るサービス・制度に関する様々な情報や手続きについて、行政や関係機関の方から教えてくれる、なんてことはありません。  
これを「申請保護の原則」と言います。

## \* 要介護者には“生きがい”がない？

フランスの哲学者アランは「幸福だから笑うのではない、笑うから幸福なのだ」と言いました。

確かに、要介護者であること(原因)が、生きがいを奪っている(結果)と考えることができます。しかし、生きがいがないがゆえに(原因)が、その人を要介護者にさせてしまう(結果)とも言えるのかもしれませんが。

こうした逆転の発想によれば、介護予防とは、行きつくところ「生きがいの創出（好きなことの発見）」ということになります。

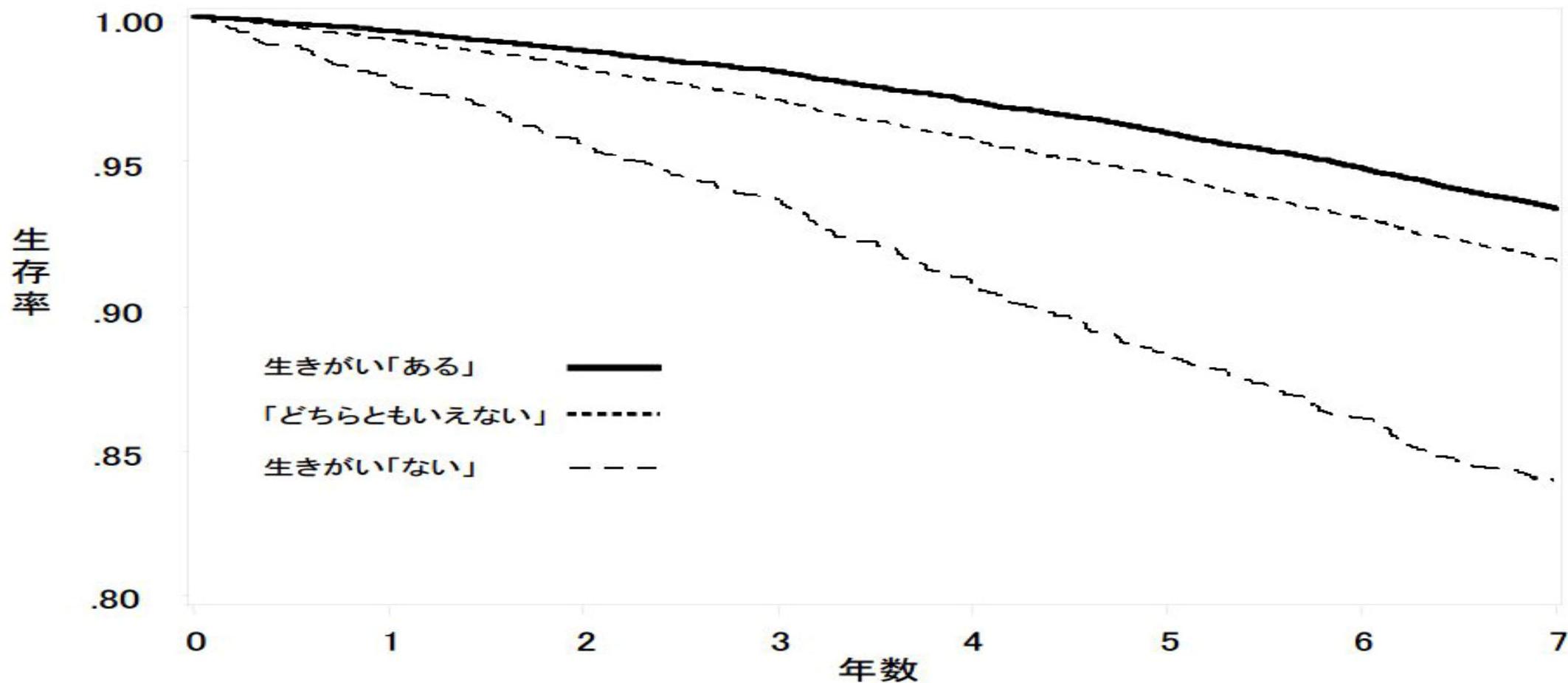
しかしそれは、なかなか難しいことです。それは、生きがいを持っている人は意図して生きがいを生み出したのではなく、いつのまにか生きがいを持っていたというのが実情だからです。

## \* 生きがいがある人は長生き

人は誰でも“生きる目的(生きがい)”があってこそ人生を前向きに送る意欲が湧き、充実した日々を過ごすことができるのだと思います。そして、高齢者の場合は一層、生きがいがそのまま“生きる力”となっているといえます。

次の図は40～79歳の約5.5千人を調査した、“生きがいと生存率の関係”を表したものです。

## 生きがいと生存率



## \* 要介護者の「尊厳を保持する」とは

「尊厳の保持」とは、例えば本人の意向を無視して施設に入居させるようなことがあってはならない、ということの意味しています。

それを「本人が利用したいと考えて、あるいは利用する方が本人にとって良いだろうからと推測して利用してもらおう」と拡大解釈するのは明らかな誤りです。

## \* 自立支援とは何なのでしょう

「その人が自身の残存能力をできる限り活用つつ、生活する上でまだ足りない部分を補い、支えること」、端的にはこれに尽きると思います。

ケアプランが表すものは、その方の生活そのものですので、介護サービスを受ける当事者自身がどのような日々を送りたいのかについて考えることが大切です。